

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらめき古堅南			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～	令和年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和年 1月 15日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型事業所なので、平日午前中は児童発達支援児童、午後は放課後デイの児童が利用されており、祝日長期休みは朝から両方の児童が来所されています。合同時間は混雑していますが、普段接することの無い異年齢との交流になり、双方に良い刺激があると考えています。同伴される児童の保護者様にも放デイの雰囲気を知ってもらおう機会になっています。	・小さい児童に対しての対応の仕方や、お世話心が芽生え、相手の気持ちに合わせる経験に繋がっています。 ・保護者さまが放デイ移行時期に向けてイメージしやすいよう相談にもお応えできるようにしています。	放課後デイ・児童発達支援の合同親子交流会を開催できるように検討しています。
2	外部講師による「音楽プログラム」「陶芸プログラム」を各週一回ずつ取り組んでいます。	・感覚刺激遊びを通して、想像力、創造性、思考力、集中力、協調性などを養う効果を期待しています。 ・楽器や道具の準備、片付け、使い方を指導する上で力加減のトレーニングになります。	外部講師によるプログラムを受けることによって成長が見られている様子を、保護者様に是非見ていただける機会を増やしていきたいと計画しています。（参観日、展示会など）
3	就労に向けた活動プログラムを実施しています。	・「一定の時間座る」ことから始まり、「ルールの理解」「準備・片付け」「流れ作業」など、将来子供たちが働くことにつながるように、動作面や認知面のトレーニング活動を提案しています。	・社内の就労事業所との交流を深め、成人部門の方々のお仕事を一緒に体験させていただく機会を儲けたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発語のトレーニングを必要とされている利用者に対して、ことば音楽療法の実施が固定化できておらず、不定期で指導させていただいています。	・人員不足のため、個別訓練を行う余裕がない状況です。	・人員不足を改善し、余裕を持った人員配置を行うことで個別指導時間が確保できると考えています。
2	土曜日の開所が出来ていない現状です。	・土曜日開所するためには人員不足を改善する問題があります。	・社内他事業所と協力しながら土曜日開所できる方法を模索中です。
3	小学校から中学校へ移行する児童が出てきています。今後の中高生向けの取り組みについて事業所実例がないこともあり、どのようにニーズに答えていけるかを模索検討しています。	・進学先の中学校から自宅までの登下校自立支援を開始しました。 ・子どもの意思を尊重し、保護者の不安感と実際の課題を出し合いながら、利用日、支援内容を相談中です。	・沖縄県内の中高生向けの取り組みを視察予定しています。具体的な支援方法を理解し、実践可能なプログラムを取り入れていく予定です。